

乳幼児の社会的行動の 評価と支援



1歳6か月児健診での「気になる姿」、どう評価し、どう支援する？

発達の個人差が大きい1歳半という時期。社会的行動のサインを正しく読み取り、適切な支援へとつなげるための視点は、健診に携わるすべてのスタッフにとって重要なスキルのひとつです。本研修では原口英之先生をお招きし、1歳6か月児健診における社会的行動の評価ポイントと、明日からの業務に活かせる実践的な支援方法について分かりやすく学びます。

令和8年

開催日時 10月6日(火) 午後2時から午後4時まで

開催方法 オンライン (Google Meet)
(参加用URLは後日メールにて申込者に送付)

対象者 乳幼児健診の支援や運営に携わる方
(職種不問)

申込方法 二次元コードまたはURLから
原口先生への質問も大募集！！

※申込み及び質問締切 9月14日(月)※

講師 原口 英之 先生
(臨床心理士・公認心理師)

申込用二次元コード



申込用URL

<https://forms.gle/5it3gaWgf23QGxoE7>

【講師紹介】

臨床心理士・公認心理師。

専門は乳幼児の発達支援および保護者支援。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の研究員を経て、現在は、所沢市こども支援センター発達支援エリア他、保育園、精神科クリニック等に勤務。

発達が気になる子どもへの関わり方や親面接について、現場スタッフへの実践的な助言(スーパーバイズ)を数多く行っている。

著書に『発達が気になる幼児の親面接』など。